

キラリバッチが魅力的

「病院全体で育てる」を実感しています

令和3年度新人看護師
西7階病棟 木村 優太さん



横浜医療センター入職の決め手となったひとつに、新人が着ける「キラリバッチ」ですね。

病棟以外の看護師や他の職種の方も、「新人さん」ということで接してくれて、分からないところがあれば優しく教えてくれます。

初めてアンギオ室に入った時に、放射線技師さんから「ここはこうするんだよ」と教えてくださって嬉しかったです。内視鏡室の方も、観察点や「もっとここを見たほうがいいよ」って教えてくれて…（笑）。実際に働いていてキラリバッチの良さを感じています。



キラリバッチとは？

横浜医療センターの新人看護師が名札に着けるバッチです。
一年間、職員のみなさんに支えられながら成長できます！

視野を広げる研修

当院は診療科が多いため、多くの機器があります。実際に現場で使われている機器を研修で学習できることはイメージができていいなと思います。先日、人工呼吸器の研修があったのですが、普段病棟では使用しない医療機器を研修で触れることができ、とてもいい経験になりました。研修も多くて勉強になります。

頼もしい先輩、プリセプター！

新人ひとり一人にプリセプターが付いてくれて、普段から話をすることも多くあります。月1回の面談もあって、分からないこととか悩んでいることを細かく聞いて相談に乗ってくれます。どうやって問題解決したらいいのかを一緒に考えてくれるので、すごく心強いです。振り返りノートにもコメントをいっぱい書いてくれて、励みになりますね（笑）。

ワークライフバランスの充実

休みの日はランニングしたり、地元の看護師の友達と話しをしながらオンラインゲームをするのが好きです。休みはしっかり取れるし、仕事終わってから30分くらい走ります。病棟全体で仕事を早く終わらせようって雰囲気があるので、定時近くにまだ仕事をしてると、先輩が「何が終わってない？」って聞いてくれて、できてないことも先輩たちが手伝ってくれるのですごく助かってます。

